

STRIVE FOR



瀬戸SOLAN学園初等中部
2026年度第5学年 学年通信
第12号 7月30日発行

今回は、副担任の先生からの通信をお届けします。ぜひご一読ください。

【1組】学級通信 副担任・牧島より

音楽「みんなで音の立体パズルを完成させよう！」

第1Qでは、「マイバラード」の二部合唱に取り組みました。自分たちの声を楽器のように重ねて歌うことは、5年生にとって初めての経験です。

授業のはじめに、「合唱って何だろう？」と問いかけると、子どもたちからすぐに「みんなで気持ちを合わせて歌うこと」という答えが返ってきました。子どもたちは練習を重ねる中で、その言葉を実感するように「相手の声を聴くこと」の大切さを少しずつ感じ取っていきました。

練習を始めた頃は、つられてしまわないように、自分のパートを歌うことだけで精一杯でした。しかし、練習を進めるごとに、「今は主旋律を支えよう」「相手の声がよく聴こえるように歌おう」と、全体の響きを意識する姿が見られるようになりました。

毎朝のモーニングミーティングでも歌い続けたことで、一人ひとりの声が少しずつ重なり合い、クラス全体で一つの音楽をつくり上げる喜びを感じられるようになっていきました。自分の声だけではなく、周りの声にも耳を傾けながら歌う姿からは、一人では生まれない音楽の響きを楽しむ様子が見え始めました。

第2Qは、「ルパン三世のテーマ」の合奏に挑戦します。单元名は、「メロディーとリズムの立体パズル～響き合うハーモニー～」です。主旋律、伴奏、低音、リズムなど、楽器には大切な役割があります。一人では完成しない音楽だからこそ、お互いの音を聴き合い、それぞれの役割を生かしながら、みんなで一つの音の立体パズルを完成させ、「響き合うハーモニー」をつくっていきたいと思います。



【2組】学級通信 副担任・浅谷より

理科「メダカたんじょうプロジェクト」が進んでいます！

理科では現在、「メダカはどのように生まれるのだろう」という問いをもとに、メダカの卵を継続して観察する「メダカたんじょうプロジェクト」に取り組んでいます。

子どもたちは解剖顕微鏡を使い、卵の中を観察しています。毎日の小さな変化を記録しながら、「昨日と何が変わったのか」「どのような順番で成長していくのか」を話し合い、考えを深めています。本物の卵を観察することで、生命の神秘や成長の不思議を実感できる学習を目指しています。

休み時間にも「今日も見たい！」「昨日より変わっているかもしれない！」と理科室へ足を運ぶ子どもたちの姿が見られます。毎日続けて観察することで、小さな変化にも気づけるようになり、「黒い目が見えた！」「体が動いている！」など、たくさんの発見が生まれています。自ら進んで観察に取り組む姿を、とても頼もしく感じています。

この学習で大切にしているのは、「正しく観察すること」「変化を見つけること」「記録を比べること」「観察した事実をもとに考えること」です。観察を続けながら、自分なりの考えをもち、その根拠を説明できるようになることを目標にしています。

今後、卵がふ化した後は、観察して分かったことを図鑑や解説動画、漫画、ポスターなど、自分に合った方法でまとめる予定です。作品づくりそのものが目的ではなく、自分が観察して分かった内容を、分かりやすく伝えることを大切にしています。

なお、ふ化したばかりのメダカ（針子）は、お腹にある栄養で数日間生活しますが、その後はえさを食べ始める必要があります。そのため、子どもたちには「自宅で責任をもって飼育を始める」または「理科室へ返却する」のどちらかを選ぶよう伝えられています。命を観察するだけでなく、命を大切にすることや、生き物を最後まで責任をもって世話することについても学んでいきたいと考えています。



【3組】学級通信 副担任・赤堀より

算数「意欲的にがんばる子どもたち～「整数」に取り組みました！」

5-3の算数では「整数」の学習に取り組みました。この単元は、倍数や約数などの新しい言葉やルールが多く、「何回も練習する」ことが大切です。子どもたちは学習にしっかり向き合い、助け合いながら取り組んでいました。

授業では、誕生日や出席番号などの身近な数を偶数・奇数でわける活動を行いました。他にも、「男子は4の倍数、女子は6の倍数」で順番に立っていくことにも挑戦しました。男女が12で一斉に立ち上がった時、「これが最小公倍数だ！」と発見に喜ぶ姿も。このようなちょっとした工夫で、子どもたちは楽しみながら学習に取り組むことができました。

問題を解く時間では、お互いに教え助け合う姿がよく見られます。大人が教えることとはまた違い、子どもならではの目線と言い回しで「ここはこう考えると分かりやすいよ！」と、学び合う姿がとても素敵だと感じます。誰一人として置いていかない、共に高め合おうとする学級の絆を感じる瞬間です。

このような積極的な姿勢は、家庭学習にも表れています。「算数を頑張りたい！」という意欲がクラス全体で非常に高まっており、先のクォーター間休み

(BQ)の振り返りでも、「毎日10分、算数の勉強を続けた」と教えてくれた子がいました。また、「もっと難しい問題を出してほしい」と、自ら進んで課題に挑戦する頼もしい姿も見られます。まさに「自立し、自律した学習者」へと、自らの足で歩みを進めていると感じます。

今回学んだ「整数」の単元は、この先で出会う「分数の加減」や「約分」をよりよく理解するための大きな鍵となります。仲間と手を取り合い、自ら学びを深めようとする3組の頼もしい背中を、これからも全力で応援していきたいと思います。

